

情熱 責任
真摯 覚悟

埼玉県議会議員

宇田川ゆきお 県政報告

埼玉県議会

平成 29 年 5 月 12 日発行 埼玉県議会自由民主党議員団 宇田川ゆきお県政事務所
〒340-0801 埼玉県八潮市八條 393 Tel. 048-932-4055 Fax. 048-932-6205

県政に関するご意見・ご要望をお寄せください。



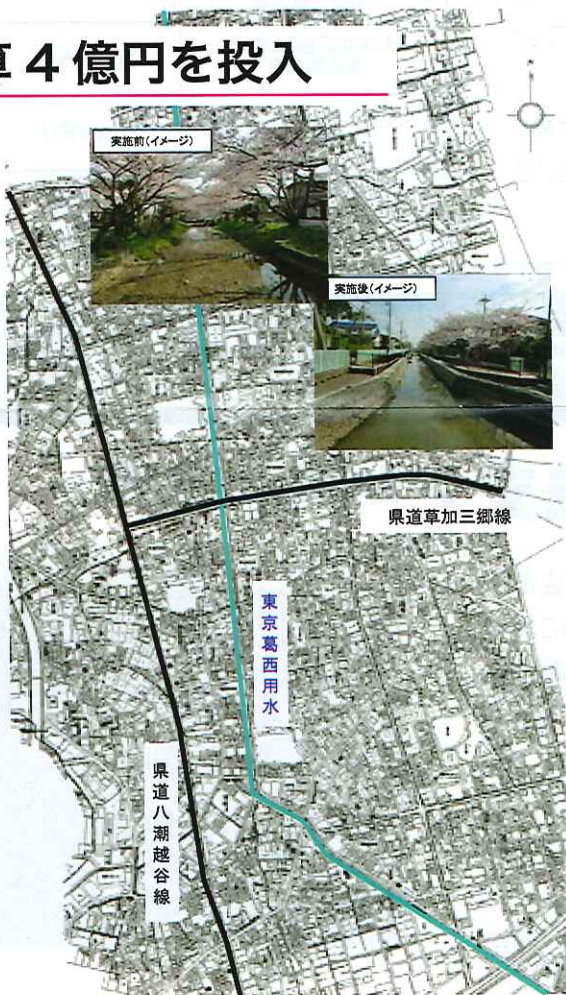
東京 葛西用水親水化決定

東京葛西用水は越谷・草加そして足立区と親水護岸化が進んでいます。これに対し昨年 12 月の県議会定例会で東京葛西用水の親水化について質問。「貴重な水辺空間として地域の方々の憩いの場になっていることを認識し、さらに冬期における通水の調整を行い清流の復活を支援。ワーキングチームなどの要望を伺い親水化の調整を進める。」との回答を得ました。

平成 29 年度予算 4 億円を投入

平成 29 年度予算では、川の国はつらつプロジェクト推進費（農業用水）として 4 億円を計上。県民誰もが川に愛着を持ち、ふるさとを実感できる「川の国埼玉」の実現に向けた取り組みを一層推進するため、市の地域振興の取り組みと連携した水辺空間の整備・拡充を行い市と共にその結果をまち全体に「人もまちも川もはつらつにすること」を目的とします。

平成 29 年度と新規補助として位置づけ、事業期間は平成 29 年度から平成 32 年度を予定。事業内容は親水護岸整備が 0.78km、安全施設整備が 2.82km となっており、事業主体は八潮市です。



ご挨拶

平成 29 年度の予算を決定する県議会 2 月定例会が 2 月 20 日(月)から 3 月 27 日(月)まで約 1 ヶ月間開催されました。

閉会の頃は桜の花も見頃を迎えていましたが、今は爽やかな風が吹き心地よい春たけなわの季節となっています。

今議会で注目すべき予算措置は、東京葛西用水の親水化事業だと思います。平成 29 年度から平成 32 年度までに親水化と安全施設整備事業が行われるということです。

また、まちづくりに地域資源（歴史的・地理的・人的など）が欠かせないことも再認識することができました。子ども達の限りない未来のために努力していかねばならないと決意を新たにしております。

埼玉県議会議員 宇田川 幸夫

埼玉版ネウボラ推進事業

宇田川ゆきお県議は、県議会においてネウボラ事業の研究・助成について提言して参りました。ネウボラとは妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援を行うことですが、子育ての包括支援体制がまだまだ充実してしていないのが現状です。

平成 29 年度予算では、埼玉版ネウボラ推進事業に 2 億 8 千万円の予算を投入。全市町へのセンター設置や人材育成に努めます。

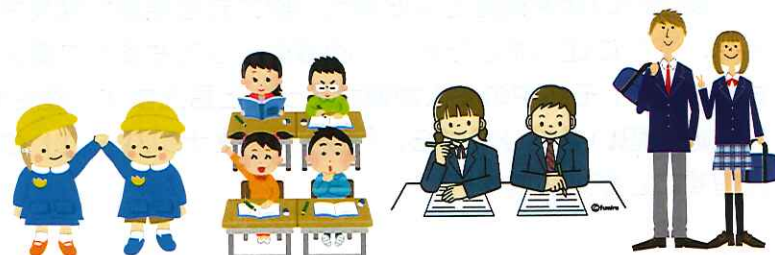


私学助成（高校・小中学校・幼稚園）の充実

私立学校運営費補助について、国の標準費の増額をふまえ、生徒・園児 1 人あたりの補助単価を増額しました。

私立学校父母負担軽減事業補助について、高等学校～年収 609 万円未満世帯まで授業料の実質無償化を拡大し、子育て世代の教育費負担を軽減。【新規】

幼稚園～家計急変世帯の実質無償化を継続。小中学校等～年収約 400 万円未満世帯の授業料負担軽減を実施。【新規】



■大曽根交番の改修・右折レーンの設置

仮称八潮警察署の設置要望と警察官の増員について県に働きかけ続けていますが、平成 29 年予算で「大曽根交番」の改修が予算化されました（交番建設費は県内 3 カ所）それに伴い右折レーンも設置されることとなりました。

地域住民の安全と平穏を確保するため、地域に密着した警察活動の拠点となる交番と道路環境が整備され、治安体制と地域の交通安全の強化が確保されます。安全なまちへ一歩前進。



■子どもに関する医療費対策助成

乳幼児への医療費助成について約 28 億円を計上しました。これは、医療費が多くかかる子育て家庭をしっかりと支援していくという目的に沿ったものです。

ただし、所得制限については、対象者の重点化を図るため、限られた財源の中で本当に医療費助成が必要な方々が安心して医療を受けられる事を基本に設けられています。

■八潮南高校大規模改修

県立高等学校の校舎の老朽化に対し、教育環境の整備の一環として校舎の大規模な改修を行います。

建設後 20 年を経過した条件の中から八潮南高校が選ばれ 2 億円の予算が計上されました。

■都市基盤整備事業 八潮市

市民の日常生活を進めていくうえで道路や橋などの都市基盤整備を計画的に行っていく必要があります。

平成 29 年度の八潮市内の道路・交差点・橋梁等の整備については下図のとおり決定されています。

事業名	路線名等	事業の概要	備考
社会資本整備総合交付金(街路)事業費	草加三郷線(西袋)	L=580m W=13.0(22.0)m	委託・補償
街路整備費	草加三郷線(西袋)	L=580m W=13.0(22.0)m	委託・使費料・用地・補償・負担金
街路整備費	草加彦成線	L=644m W=6.5(16.0)m	委託・補償
舗装道路整備費	八潮三郷線	切削オーバーレイ W=3.5m.L=400m	工事
交差点整備費	平方東京線	交差点改良	用地・補償
橋りょう整備費	平方東京線(境橋)	橋脚補強、落橋防止	工事
社会資本整備総合交付金(河川)事業費	圀側(圀川排水機場)	電気設備改築	工事・委託
公共団地区画整理事業 県道整備費	西袋上馬場	建物移転	用補
つくばエクスプレス沿線地域 整備推進費	八潮南部西	宅地造成、区画街路築造・ 調整池掘削・公園造成 物件移転・調査測量設計	工事・委託・用補
流域下水道事業 (流域下水道建設費(県単))	中央幹線 川口幹線	【工事】 管渠改築工事 人孔防食工事	

八潮の文化人 千ヶ崎(田中) 悌六

与謝野晶子を支えた歌人画家

足立区立郷土博物館で文化遺産特別展が開催。宇田川ゆきお県議と共に見学。千ヶ崎(田中) 悌六は、文芸雑誌「明星」に詩歌を投稿し、文学結社「新詩社」の一員として与謝野夫婦と親交を深め、与謝野晶子を支えました。また、文芸雑誌「冬柏」の編集発行に尽力し、石井柏亭の教示を受け画家としても活躍しました。

悌六は明治 38 年 1 月 8 日に潮止村村長田中四一郎の六男として誕生。東京帝国大学経済学部卒業。岩波書店編集部勤務。昭和 17 年足立区花畑の千ヶ崎家に婿養子として入る。のち足立区立第十三中学校の英語教師として奉職。履歴書には潮止村立尋常高等小学校入学とある。

悌六の生家 潮止村

悌六の祖父田中三郎左衛門は、明治 22 年 5 月に 7 村合併で成立した潮止村の初代村長に就任し、三期に亘り村政を担いました。

悌六の父田中四一郎も明治 34 年に潮止村村長に就任し、後に埼玉県議会議員なども歴任し、郷土に大きな足跡を残しました。

なお、田中四一郎の銅像は J A さいかつ潮止支店前に建つ。

まちづくりは歴史と共に未来へ

八條遺跡の発掘調査で平安時代の竪穴式住居跡が発見されたことは、すでに述べましたが、人的遺産としても多くの偉人が輩出されていて、その中の一人が悌六だと言えます。歴史を知り、先人達の思いを学びながら、「住みやすさナンバー 1」のまちを目指すことが大切です。

平成28年度 文化遺産調査特別展 一与謝野晶子 新出資料から一

千ヶ崎 悌六 (ちがさき ていりく)

一与謝野晶子を支えた足立の歌人画家一

会期：平成29年3月19日(日)～5月21日(日)

※会期中作品・資料の一部は休館日があります

講演会
4月9日(土) 「足利千ヶ崎悌六、大正・昭和の自由主義文芸、与謝野晶子・石井柏亭の軌道、支那の画家」
開演19時(閉会20時) 足立区立郷土博物館 大ホール
4月15日(土) 「昭和期における与謝野晶子 雑誌『冬柏』を中心に」
講者 下野明子(さいかつ明子の社 与謝野晶子記念館 学芸員)
不定日=9時 講演会は事前にご予約ください(先着順) 受付は2月11日(土)から開始しています

スライドレクチャー
4月23日(日) 「足立の歌人画家、千ヶ崎悌六の軌道」 小林昭(当院 学芸員)
千ヶ崎悌六(江村残存) 昭42297
時間はいつでも午後2時～午後3時 会場=足立区立郷土博物館2階講堂 参加費無料

観覧時間=午前9時～午後5時
観覧休館日(祝日にあたる場合はその翌日)
観覧料=フリー観覧(18歳以下=100円) 入館料500円 月間観覧券
観覧 通車=JR常磐線より東武バス(八潮駅西口) 徒歩で(足立郷土博物館) 下車徒歩1分、JR常磐線、
JR・地下鉄常磐線より東武バス(六ツ木駅) 徒歩(東武江籠園) 下車徒歩4分、駐車場あり。
観覧 観覧料=大人(高校生以上) 200円、中学生(高校生以下) 100円
70歳以上の方、障害者手帳をお持ちの方および介護者1名までは無料、毎月第2・3土曜日は無料公開日。

足立区立郷土博物館
〒120-0001 東京都足立区花畑5-20-1
Tel 03-3620-9393 Fax 03-5697-6562

足立区立郷土博物館

特別展の資料として出版された書籍の中には、石井柏亭と悌六の絵画と活動、歌人画家悌六の軌跡、新詩社歌人、洋画への挑戦などの内容が収められています。

足立区立郷土博物館発行 資料表紙から転載
平成 29 年 5 月 21 日(日)まで開催